



屋上緑化

屋上ビオトープ

雨水を活用し、屋上に生き物溢れる水と緑の癒しの空間を創ります。

ビオトープとは“生き物の棲む場所”という意味です。その地域の自然をモデルとしたビオトープを復元することによって、身近で自然と触れ合うことができます。心地よい自然との触れ合いは、私たちに潤いとゆとりをもたらしてくれます。都市はビルが密集し路面もアスファルトや石畳などで舗装され、ビオトープを造る場所の確保が難しくなっていますが、私たちは、舗装面でも心地よい水辺の空間（ビオトープ）を創出します。その1つが屋上ビオトープなのです。このような水と緑と生き物が調和した生命感あふれる屋上緑化はいかがでしょうか？



文京区 東京学芸大学附属竹早小学校 屋上ビオトープ 2008年4月竣工 (2008年8月撮影)

当屋上ビオトープ概要

施工面積：約76.1㎡

荷重：約120kg/㎡

特徴：

- ・ 自然エネルギーを利用したビオトープ（ソーラーエネルギー・雨水）
- ・ 自然資源を活用したビオトープ（間伐材等）
- ・ 自由度の高いビオトープ（形を変えることができる）
- ・ 底部冠水型のため散水装置は不要。

水域面積：約27.2㎡

池：2箇所（最大水深 約120mm）

流れ：1箇所（水深 約30mm 水路幅 約300mm内外）

見切り面積：約50.0㎡（立ち上がり高 230mm）

水循環設備：ソーラーパネルにより水中ポンプを稼動、送水管を経由して水循環させる。

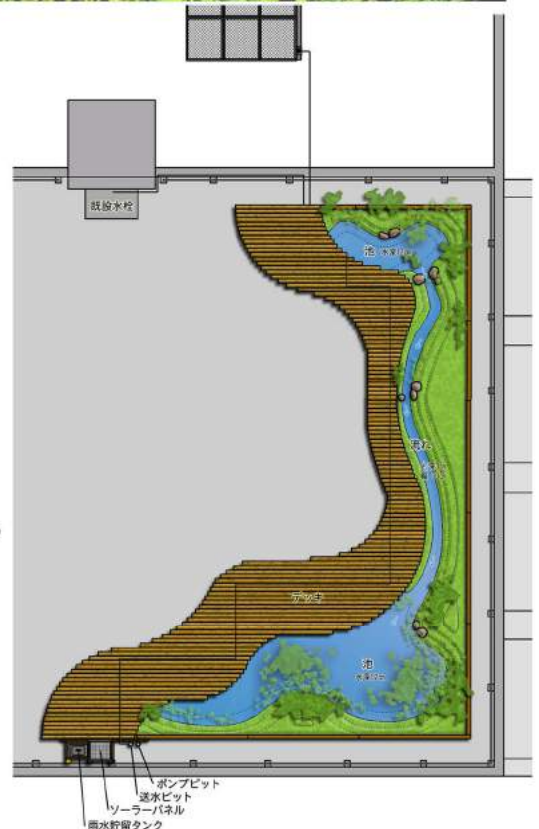
給水設備：雨水を取水しタンクへ貯留、池へ給水。雨水が不足すると水道水で補給。

排水設備：各池に1箇所の排水口。オーバーフローは1箇所。

その他：デッキ（面積 約34㎡、高さ190~260mm、厚さ30mm）

植物：

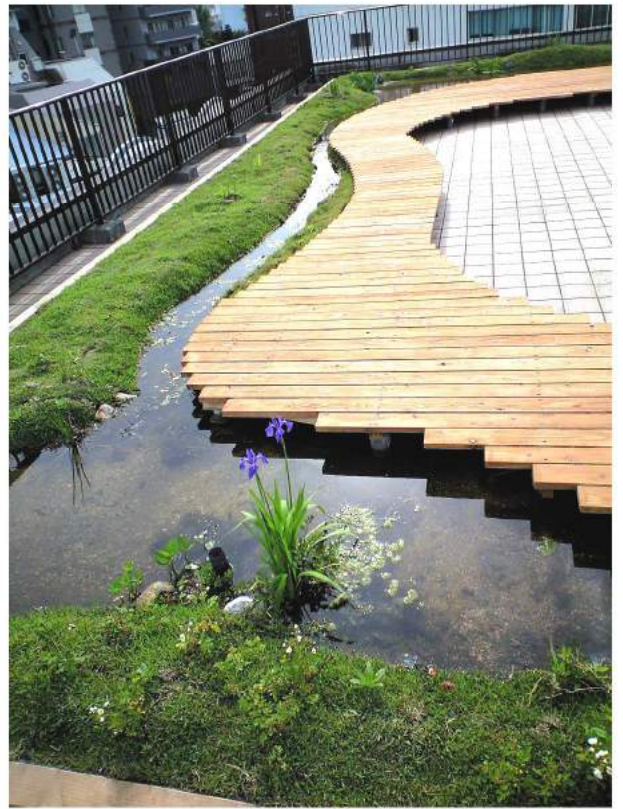
- ・ 陸域は土壤飛散防止も兼ねノシバを全面張り付け、野草へ自然遷移させる。
- ・ 低木（ノイバラ等）・湿性植物（ミソハギ等）
- ・ 沈水植物（エビモ等）・浮葉植物（ジュンサイ等）



ひとつのモデルです。ご要望に応じたものをつくらせていただきます。



全景 (2008.05.08)



上流のビオトープ池と流れ (2008.05.08)



ビオトープ設置前



雨水タンクとソーラーパネル



上流のビオトープ池 (2008.05.08)



下流のビオトープ池 (2008.07.25)



カキツバタとノイバラ (2008.05.08)



ミソハギ (2008.07.25)

横浜市役所 屋上緑化 (緑化雨水池)



雨水池がメインの緑化の一例です。
木箱部分が雨水貯留タンクになっており、
タンクと池の相互送水設備が付いています。

当社のビオトープは単なる池作りと緑化ではなく、
これまで自然環境維持等の仕事で培った知識と活かし、
「心地よい自然の復元」を目指しています。ここは屋上
ですが、地上にある自然の姿が再現されています。

ビオトープの実績

- 滝野川第五小学校 (北区) 平成20年3月
- 第七峡田小学校 (荒川区) 平成19年3月 全国ビオトープコンクール2007銀賞
- 赤羽幼稚園 (北区) 平成18年8月 など他、実績多数



水研クリエイティブ株式会社
〒115-0051 東京都北区浮間 4-13-10
Tel:03-5916-1720 Fax:03-5916-1721
E-mail:suiken@ma.kitanet.ne.jp
<http://www3.kitanet.ne.jp/~suiken/>
造園事業者登録
東京都知事許可 (般-20) 第109146号